

30精米工（技）第167号
平成30年11月9日

関係各位

一般社団法人日本精米工業会
会 長 木 村 良
【 公 印 省 略 】

第100回『精米検査研修会』（検査コース・初級）および

第34回『米穀検査技術研修会』（検査コース・中級）の開催について

拝啓 秋冷の候、貴社（組合）ますますご清栄のことと拝察致します。

さて、本会が実施する精米工場において「人を育てられる人を育成する」をテーマとした教育事業「精米工場管理者ライセンス制度」はスタートより10年を経過し、内容を充実した教育体系となるよう改善・改良をしながら、多くの企業の皆様にご活用いただいているところです。

会員以外の米穀販売会社（精米工場）も、米穀業界の基礎的知識である、玄米・精米の見方や実際の分析方法等について学習する標記研修会への関心は高いものがあり、昨今は米穀販売会社（精米工場）のみならず、精米を原材料として扱う炊飯関連企業からも、大変多くのお問い合わせをいただいています。

そこで、本会では、玄米・精米の見方や評価のもととなる標記研修会について、参加人員を限定し申し受けることと致しましたので、ご案内申し上げます（会員は会員価格）。

なお、ご不明の点等がございましたら、本会技術部・担当者までご連絡下さいますようお願いいたします。

また、基礎的な内容の他に精米業界の課題や炊飯加工技術の向上等に関する研修を企画していますので、ご利用下さい。

敬具

一般社団法人日本精米工業会	担 当：升 拓 郎 (masu@jrma.or.jp)
	武 田 法 久 (n-takeda@jrma.or.jp)
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15 食糧会館7階	
TEL：03-4334-2190 FAX：03-3249-1835	

第100回『精米検査研修会』

検査技術コース
(初級)

1. 日 程

平成31年1月21日(月) 13:00より(受付は11:30より)
23日(水) 12:00まで(2泊3日)

2. 会 場

湘南国際村センター(神奈川県三浦郡葉山町)

3. 対象者

新入社員の方や社内異動により初めてお米を扱う方等の初心者を対象としています。

4. 内 容

精米の品質及び検査・評価に関する基本的な理論・方法等について、実習を交えて学習し、習得します。

※表1参照

5. 定 員

15名 1企業の出席者数の制限は行いませんが、参加希望者が定員を超える場合はご相談させていただきます。

6. 申込方法

別紙①によりFAXにてお申し込み下さい。

7. 受講費

1名につき、138,240円(税込)

内訳:研修費 108,000円

宿泊費等 30,240円(宿泊2泊、食事7回含む)

① 申込書の受理後、研修会受講費請求書を送付致しますので、振込により納入して下さい。

② 会場までの交通費は受講者の負担です。

8. 締 切

定員の場合、又は、平成31年1月16日(水)までとします。

9. その他

① 最後の修了試験に合格した方には「修了証」をお渡しします。

② 参考、本研修会の現在までの受講者数は約4,800名です。

表1 第100回『精米検査研修会』日程及び研修項目（予定）

月 日	時 間	研修項目
1月21日 (月)	13:00 ~ 13:10	開講挨拶
	13:10 ~ 14:20	精米の基礎知識
	14:30 ~ 15:40	玄米の基礎知識
	16:10 ~ 16:50	精米の検査・評価方法【実習】
	16:50 ~ 18:00	炊飯の基礎知識
1月22日 (火)	9:00 ~ 12:00	精米の検査・評価方法【実習】
	13:00 ~ 18:00	〃
1月23日 (水)	9:00 ~ 11:30	修了試験（筆記・鑑定）
	11:30 ~ 12:00	閉講挨拶・総評・修了証授与

※) 研修終了後、引き続き、検査技術コース中級の第34回『米穀検査技術研修会』の受講が可能です。

【研修会の様子】



精米の染色実習



精米の染色実習



精米の分析実習



精米の分析実習

第34回『米穀検査技術研修会』

検査技術コース
(中級)

1. 日 程

平成31年1月23日(水) 13:00より(受付は11:30より)
25日(金) 12:00まで(2泊3日)

2. 会 場

湘南国際村センター(神奈川県三浦郡葉山町)

3. 対象者

精米についてはある程度の知識を習得し、玄米の見方や分析方法、加工性等の一連の検査手法を学習したい方を対象としています。

4. 内 容

玄米から精米および米飯に至るまでの一連の品質検査・評価に関する理論・方法等について、実習を主体に学習し、習得します。

※表2参照

5. 定 員

10名 1企業の出席者数の制限は行いませんが、参加希望者が定員を超える場合はご相談させていただきます。

6. 申込方法

別紙②によりFAXにてお申し込み下さい。

7. 受講費

1名につき、138,240円(税込)

内訳:研修費 108,000円

宿泊費等 30,240円(宿泊2泊、食事7回含む)

① 申込書の受理後、研修会受講費請求書を送付致しますので、振込により納入して下さい。

② 会場までの交通費は受講者の負担です。

8. 締 切

定員の場合、又は、平成31年1月16日(水)までとします。

9. その他

① 最後の修了試験に合格した方には「修了証」をお渡しします。

② 参考、本研修会の現在までの受講者数は約750名です。

表2 第34回『米穀検査技術研修会』日程及び研修項目（予定）

月 日	時 間	研修項目
1月23日 (水)	13:00 ~ 13:10	開講挨拶
	13:10 ~ 18:00	米穀の検査・評価方法【講義・実習】
1月24日 (木)	9:00 ~ 12:00	米穀の検査・評価方法【実習】
	13:00 ~ 18:30	〃
1月25日 (金)	9:00 ~ 9:50	米穀の検査・評価方法【実習】
	10:00 ~ 11:30	検査主任技術者認定試験（筆記・鑑定）
	11:30 ~ 12:00	閉講挨拶・総評・修了証授与

【研修会の様子】



玄米の分析実習



とう精試験実習



玄米・精米の鑑定実習



炊飯・食味の実習

別紙①

平成 年 月 日

第100回『精米検査研修会』申込書

一般社団法人日本精米工業会・技術部 宛て

企業名：

(担当者： ⑩)

(TEL： — —)

次の者を標記研修会に出席させます（1名につき1枚ずつ記入して下さい）。

フリガナ

① 氏 名 _____ (男・女)

② 生年月日 昭和・平成 年 月 日 (歳)

③ 現在の業務 _____ 年 (役職名：)

④ 勤務先住所 _____ (〒 —)

TEL： — — FAX： — —

⑤ 個人連絡先 TEL： — — (当日連絡が取れる携帯電話)

※記入漏れの無いようにご注意下さい。

別紙②

平成 年 月 日

第34回『米穀検査技術研修会』申込書

一般社団法人日本精米工業会・技術部 宛て

企業名：

(担当者： 印)

(TEL： — —)

次の者を標記研修会に出席させます（1名につき1枚ずつ記入して下さい）。

フリガナ

① 氏 名 _____ (男・女)

② 生年月日 昭和・平成 年 月 日 (歳)

③ 現在の業務 _____ 年 (役職名： _____)

④ 勤務先住所 _____ (〒 — —)

TEL： — — FAX： — —

⑤ 個人連絡先 TEL： — — (当日連絡が取れる携帯電話)

※記入漏れの無いようにご注意ください。